Proceedings of the Association for Plant Protection of Hokuriku No. 32, 1984

富山県における水田地帯とその付近のカメムシ類

常　楽　武　男

Takeo JOHRAKU : A list of the bugs near paddy field area in Toyama Prefecture (Hemiptera : Gymnocerata)

水田地帯やその付近に生息するカメムシ類の中には，稲の穂を加害して斑点米を発生させる種類が多い。また，そのほかの農作物の害虫も多い。これらカメムシ類は種類数が多く，そく類別を明らかにしておくことは，カメムシ類の発生予察上，また防除上の基本である。

このようなことから，害虫類の発生調査のかたわら県内に生息するカメムシ類の採集に努め，それらを同定・分類して発生予察や防除上の参考標本として整備してきたが，その種類数もかなり多くなったので，ここに目録として取りまとめて記録する。

本報に記録した種は，異翅目，顕角群の7上科に所属する広義のカメムシ類である。

本報を取りまとめるに際して，種の同定や学名の変更，大分類などについて，農業環境技術研究所の長谷川仁氏に懇切な御指導を賜った。記してお礼を申し上げる。

材料および方法

記録対象種：本報での記録は，富山県農業試験場所蔵の富山県内産現物標本の調査結果によった。現物標本を調査できない種の記録は，原則として避けた。

発生地・発生期：調査標本のデータと富山県昆虫研究会[4]のデータを中心にして記した。

なお，調査標本の個体数，産地，採集年月日などの具体的データは，富山県昆虫研究会[4]，常楽[1,2]などに記録されているので参照されたい。また，富山農試で標本を直接調査・観察することもできるようになっている。

分類・配列：目・科・種などの名称や配列は，安松ら[7]に準拠し，長谷川仁氏の御教示により多少の訂正を加えた。

HEMIPTERA　異翅目

Gymnocerata　顕角群

Tingoidea　グンバイムシ上科

富山県農業試験場　Toyama Agricultural Experiment Station, Toyama, Toyama 930-11

Tingidae　グンバイムシ科

1　*Cantacader lethierryi* Scott　ウチワグンバイ
〔発生地〕県内全域　〔発生期〕4～8月

2　*Copium japonicum* Esaki　ヒゲブトグンバイ
〔発生地〕県内全域　〔発生期〕8～9月

3　*Stephanitis nashi* Esaki et Takeya　ナシグンバイ
〔発生地〕県東部地域　〔発生期〕8月

4　*Stephanitis takeyai* Drake et Maa　トサカグンバイ
〔発生地〕県内全域　〔発生期〕8～10月

5　*Galeatus spinifrons* (Fallén)　キクグンバイ
〔発生地〕県内全域　〔発生期〕4～5月

6　*Cysteochila fieberi* (Scott)　コアカソグンバイ
〔発生地〕県東部の山手　〔発生期〕8月

Cimicoidea　トコジラミ上科

Miridae　メクラカメムシ科

1　*Alloeotomus simplus* (Uhler)　マツノヒゲボソメクラガメ
〔発生地〕県内全域　〔発生期〕9月
越冬中（2月）の採集記録もある。

2　*Tytthus chinensis* (Stål)　ムナグロキイロメクラガメ
〔発生地〕氷見市　〔発生期〕12月の採集例のみ。

3　*Sejanus* sp.　メクラガメ一種
長谷川仁氏に同定いただいたものの一つである。
〔発生地〕黒部峡谷阿曽原　〔発生期〕8月
灯火に飛来する。

4　*Plagiognathus lividus* Reuter　ウスイロホソメクラガメ
〔発生地〕黒部峡谷櫛平　〔発生期〕8月

5　*Orthotylus* sp.　メクラガメ一種
長谷川仁氏の同定によるものである。
〔発生地〕黒部峡谷阿曽原　〔発生期〕8月

灯火に飛来する。

6 *Zanchius apicalis* Poppius メクラガメ一種（和名なし）

長谷川仁氏同定のものの一種である。

〔発生地〕黒部峡谷阿曽原　〔発生期〕8月

灯火に飛来する。

7 *Cyrtorhinus lividipennis* Reuter カタグロミドリメクラガメ

〔発生地〕県東・中部　〔発生期〕9～10月

8 *Stenodema sibiricum* Bergroth ナガムギメクラガメ

〔発生地〕県内全域，特に氷見市，高岡市，福岡町

〔発生期〕5～11月

クマザサが開花，結実するとその穂に集中し高密度となる。1976～77年に多発した[5,6]がその後少発となった。

9 *Trigonotylus coelestiarium* Kirkaldy アカヒゲホソミドリメクラガメ

〔発生地〕県内全域　〔発生期〕6～7月

イネ科牧草に多い。

10 *Trigonotylus dohertyi* (Distant) アカホソミドリメクラガメ

〔発産地〕県内全域　〔発生期〕7～9月

11 *Onomaus lautus* (Uhler) アカアシメクラガメ

〔発生地〕県内全域の山地　〔発生期〕7～10月

灯火にも飛来する。

12 *Phytocoris* sp. メクラガメ一種

長谷川仁氏同定によるものである。

〔発生地〕黒部峡谷阿曽原　〔発生期〕8月

灯火に飛来する。

13 *Creontiades pallidifer* (Walker) アカホシメクラガメ

〔発生地〕県内全域　〔発生期〕8～10月

14 *Adelphocoris suturalis* Jakovlev ナカグロメクラガメ

〔発生地〕県内全域の山手　〔発生期〕7～11月

15 *Adelphocoris triannulatus* Stål ブチヒゲクロメクラガメ

〔発生地〕県内全域　〔発生期〕6～10月

16 *Adelphocoris rubripes* Jakovlev アシアカクロメクラガメ

〔発生地〕県東・中部の山地　〔発生期〕7～8月

灯火にも飛来する。

17 *Adelphocoris* sp. メクラガメ一種

長谷川仁氏の同定によるものの一種。

〔発生地〕黒部峡谷阿曽原　〔発生期〕8月

灯火に飛来する。

18 *Tinginotum perlatum* Linnavuori (?) ケブカメクラガメ

長谷川仁氏の同定によるものである。

〔発生地〕黒部峡谷阿曽原　〔発生期〕8月

灯火に飛来する。

19 *Stenotus rubrovittatus* Matsumura アカスジメクラガメ

〔発生地〕黒部峡谷阿曽原　〔発生期〕8月

灯火に飛来する。

20 *Stenotus binotatus* (Fabricius) フタスジメクラガメ

〔発生地〕県西部　〔発生期〕6月

21 *Orthops sundersi* (Reuter) マダラメクラガメ

〔発生地〕県東・中部の山地　〔発生期〕7～8月

22 *Lygocoris viridis lobatus* Linnavuori モンミドリメクラガメ

〔発生地〕県東・中部の山地　〔発生期〕6～8月

灯火にも飛来する。

23 *Lygocoris hilaris* (Horváth) フタモンアカメクラガメ

〔発生地〕県東・中部の山地　〔発生期〕8月

24 *Lygocoris spinolae* (Meyer-Dür) ウスミドリメクラガメ

〔発生地〕県中・西部　〔発生期〕5～7月

25 *Polymerus* sp. メクラガメ一種

長谷川仁氏同定のものの一種である。

〔発生地〕黒部峡谷阿曽原　〔発生期〕8月

灯火に飛来する。

Reduvioidea サシガメ上科

Reduviidae サシガメ科

1 *Oncocephalus assimilis* Reuter トビイロサシガメ

〔発生地〕県中・東部　〔発生期〕6～8月

2 *Staccia diluta* (Stål) ヒメトビサシガメ

〔発生地〕県中・東部　〔発生期〕7～8月

3 *Pirates turpis* Walker クロモンサシガメ

〔発生地〕県内全域　〔発生期〕4～5月

4 *Haematoloecha delibuta* (Distant) クビグロアカサシガメ

〔発生地〕県内全域の山手　〔発生期〕5～6月

5 *Isyndus obscurus* (Dallas) オオトビサシガメ

〔発生地〕県内全域の山手　〔発生期〕4～10月

Nabidae マキバサシガメ科

1 *Nabis stenoferus* Hsiao ハネナガマキバサシガメ
〔発生地〕県内全域 〔発生期〕7～11月

Aradoidea ヒラタカメムシ上科

Aradidae ヒラタカメムシ科

1 *Aradus consentaneus* Horváth ヒラタカメムシ
〔発生地〕朝日町 〔発生期〕6月
1個体のみの採集例である。

2 *Aradus melas* Jakovlev (?) スズヤヒラタカメムシ
長谷川仁氏の同定による。
〔発生地〕県東部の山手 〔発生期〕6～7月

3 *Aradus orientalis* Bergroth ノコギリヒラタカメムシ
〔発生地〕県内全域の山手 〔発生期〕4～8月

4 *Aradus* sp. ヒラタカメムシ一種
長谷川仁氏の同定による。
〔発生地〕魚津市北山 〔発生期〕6月
1個体のみの採集例である。

5 *Mezira taiwanica* Kormilev クロヒラタカメムシ
〔発生地〕県内全域の山手 〔発生期〕5～6月

6 *Neuroctenus costaneus* Jakovlev トビイロヒラタカメムシ
〔発生地〕県内全域の山手 〔発生期〕5～6月

7 *Aneurus macrotylus* Jakovlev ヒメヒラタカメムシ
〔発生地〕県内全域の山手 〔発生期〕6月

Coreoidea ヘリカメムシ上科

Coreidae ヘリカメムシ科

1 *Molipteryx fuliginosa* Uhler オオヘリカメムシ
〔発生地〕県内全域の山手 〔発生期〕5～10月

2 *Homoeocerus unipunctatus* (Thunberg) ホシハラビロヘリカメムシ
〔発生地〕県内全域 〔発生期〕5～10月

3 *Homoeocerus dilatatus* Horváth ハラビロヘリカメムシ
〔発生地〕県内全域 〔発生期〕5～10月

4 *Anacanthocoris striicornis* (Scott) オオクモヘリカメムシ
〔発生地〕富山市三ノ熊 〔発生期〕7月
ネムノキで採集。1個体のみの採集例である。

5 *Hygia opaca* (Uhler) ツマキヘリカメムシ
〔発生地〕県内全域 〔発生期〕5～10月

6 *Cletus punctiger* (Dallas) ホソハリカメムシ
〔発生地〕県内全域の山手 〔発生期〕4～10月
斑点米を発生させるカメムシの中で主要なものの一種である[3]。学名は本報のように変更された。

Alydidae ホソヘリカメムシ科

1 *Paraplesius unicolor* Scott ヒメクモヘリカメムシ
〔発生地〕県内全域の山手 〔発生期〕5～9月
ササの花に多い。

2 *Riptortus clavatus* (Thunberg) ホソヘリカメムシ〔発生地〕県内全域 〔発生期〕7～12月
大豆で多発することがある。

Rhopalidae ヒメヘリカメムシ科

1 *Rhopalus maculatus* (Fieber) アカヒメヘリカメムシ
〔発生地〕県内全域であるが山手で発生が多い。
〔発生期〕5～10月
斑点米を発生させるカメムシの一種である。常楽・長瀬[3]で *Aeschyntelus* sp. としたものも本種であった。

2 *Stictopleurus punctatonervosus* (Goeze) ブチヒメヘリカメムシ
〔発生地〕県内全域 〔発生期〕4～10月

Lygaeoidea ナガカメムシ上科

Lygaeidae ナガカメムシ科

1 *Nysius plebejus* Distant ヒメナガカメムシ
〔発生地〕県東・中部 〔発生期〕9～10月

2 *Chauliops fallax* Scott メダカナガカメムシ
〔発生地〕県内全域 〔発生期〕5～11月

3 *Ninomimus flavipes* (Matsumura) ホソメダカナガカメムシ
〔発生地〕氷見市 〔発生期〕4～7月

4 *Dimorphopterus japonicus* Hidaka ニッポンコバネナガカメムシ
〔発生地〕県内全域 〔発生期〕5～9月
カヤに生息する。

5 *Dimorphopterus pallipes* (Distant) コバネナガカメムシ
〔発生地〕県内全域 〔発生期〕5～9月

6 *Macropes obnubilus* Distant ホソコバネナガカメムシ

〔発生地〕県内全域　〔発生期〕5～9月
ササの穂に多い。

7 *Piocoris* varius (Uhler) オオメカメムシ
〔発生地〕県内全域　〔発生期〕5～10月

8 *Pachygrontha antennata antennata* Uhler ヒゲナガカメムシ
〔発生地〕県内全域　〔発生期〕5～7月

9 *Togo hemiptera* Scott コバネヒョウタンナガカメムシ
〔発生地〕県内全域であるが，山手で発生が多い。
〔発生期〕4～10月
斑点米を発生させるカメムシの一種である[3]。

10 *Pachybrachius luridus Hahn* クロヒョウタンナガカメムシ
〔発生地〕県内全域　〔発生期〕7～9月

11 *Horridipamera lateralis* (Scott) キベリヒョウタンナガカメムシ
〔発生地〕県内全域　〔発生期〕4～7月

12 *Paradieuches dissimilis* (Distant) チャモンナガカメムシ
〔発生地〕県内全域の山手　〔発生期〕8月

13 *Rhyparochromus albomaculatus* Scott モンシロナガカメムシ
〔発生地〕県内全域　〔発生期〕7～10月

14 *Graptopeltus japonicus* (Stål) シロヘリナガカメムシ
〔発生地〕県内全域　〔発生期〕7～10月

15 *Graptopeltus angustatus* (Montandon) ウスグロシロヘリナガカメムシ
〔発生地〕小矢部市　〔発生期〕4月
1か所，2個体のみの採集例である。

16 *Neolethaeus dallasi* (Scott) チャイロナガカメムシ
〔発生地〕県内全域　〔発生期〕8～10月

17 *Stigmatonotum flavipes* Motschulsky イチゴチビナガカメムシ
〔発生地〕県西部　〔発生期〕4～8月

Pyrrhocoridae ホシカメムシ科

1 *Pyrrhocoris tibialis* Stål フタモンホシカメムシ
〔発生地〕県内全域　〔発生期〕4～10月

Pentatomoidea カメムシ上科

Cydnidae ツチカメムシ科

1 *Adrisa magna* (Uhler) ヨコヅナツチカメムシ
〔発生地〕魚津市北山　〔発生期〕6月
1個体のみの採集例での記録である。

2 *Macroscytus japonensis* Scott ツチカメムシ
〔発生地〕県内全域　〔発生期〕5～7月

Acanthosomatidae ツノカメムシ科

1 *Acanthosoma labiduroides* Jakovlev ハサミツノカメムシ
〔発生地〕県内全域の山手　〔発生期〕5～11月

2 *Acanthosoma denticauda* Jakovlev セアカツノカメムシ
〔発生地〕県内全域　〔発生期〕5～9月

3 *Sastragala expansun* (Horváth) エゾツノカメムシ
〔発生地〕県中部の山地　〔発生期〕7月
1個体のみの採集例である。

4 *Sastragala esakii* Hasegawa エサキモンキツノカメムシ
〔発生地〕県内全域　〔発生期〕5～11月
灯火にも飛来する。

5 *Elasmucha signoreti* Scott セグロヒメツノカメムシ
〔発生地〕県内全域の山地　〔発生期〕5～10月

6 *Dichobothrium nubilum* (Dallas) アオモンカメムシ
〔発生地〕県内全域　〔発生期〕7～11月

Pentatomidae カメムシ科

1 *Eurygaster testudinaria koreana* Wagner チャイロカメムシ
〔発生地〕県西部　〔発生期〕4～10月

2 *Graphosoma rubrolineatum* (Westwood) アカスジカメムシ
〔発生地〕県内全域　〔発生期〕5～9月

3 *Dybowskyia reticulata* (Dallas) ハナダカカメムシ
〔発生地〕県内全域　〔発生期〕6～8月

4 *Scotinophara lurida* (Burmeister) クロカメムシ
〔発生地〕県東・中部および氷見市　〔発生期〕4～9月
稲の大害虫であったが，1970年代以後は非常に少発生となった。

5 *Scotinophara scotti* Horváth ヒメクロカメムシ
〔発生地〕朝日町，氷見市　〔発生期〕4～6月

6 *Scotinophara horvathi* Distant オオクロカメムシ

〔発生地〕黒部市東布施 〔発生期〕4月
1個体のみの採集例による記録である。

7 *Aenalia lewisi* (Scott) シロヘリカメムシ
〔発生地〕県内全域の山手 〔発生期〕5～6月
ササの葉上または穂でみられる。

8 *Aelia fieberi* Scott ウズラカメムシ
〔発生地〕県西部 〔発生期〕6月

9 *Eysarcoris ventralis* (Westwood) シラホシカメムシ
〔発生地〕県内全域 〔発生期〕6～11月
斑点米を発生させるカメムシの中で，主要なものの一種である[3]。

10 *Eysarcoris lewisi* Distant オオトゲシラホシカメムシ
〔発生地〕県内全域の山手 〔発生期〕5～10月
斑点米を発生させるカメムシの中で，主要なものの一種である。

11 *Eysarcoris parvus* Uhler トゲシラホシカメムシ
〔発生地〕県内全域 〔発生期〕4～10月
斑点米を発生させるカメムシの代表的な種類である[3]。

12 *Carbula humerigera* (Uhler) トゲカメムシ
〔発生地〕県内全域の山手 〔発生期〕6～10月
山間田などで，斑点米を発生させることがある[3]。

13 *Halyomorpha mista* (Uhler) クサギカメムシ
〔発生地〕県内全域 〔発生期〕4～11月

14 *Dolycoris baccarum* (Linné) ブチヒゲカメムシ
〔発生地〕県内全域 〔発生期〕5～10月
雑草地隣接の水田で，斑点米発生の原因となることがある[3]。

15 *Eurydema rugosum* Motschulsky ナガメ
〔発生地〕県内全域 〔発生期〕5月

16 *Nezara antennata* Scott アオクサカメムシ
〔発生地〕県西部 〔発生期〕9月
大豆などを加害。

17 *Plautia stali* Scott チャバネアオカメムシ
〔発生地〕県内全域 〔発生期〕5～11月

18 *Menida violacea* Motschulsky ツマジロカメムシ
〔発生地〕県内全域 〔発生期〕5～10月

19 *Menida musiva* (Jakovlev) ナカボシカメムシ
〔発生地〕細入村 〔発生期〕5月
1個体のみの採集例による記録である。

20 *Pentatoma rufipes* (Linné) アシアカカメムシ
〔発生地〕県東部の山地 〔発生期〕8～10月
灯火にも飛来する。

21 *Pentatoma japonica* (Distant) ツノアオカメムシ
〔発生地〕県内全域の山地 〔発生期〕7～10月
灯火にも飛来する。

22 *Zicrona caerulea* (Linné) ルリクチブトカメムシ
〔発生地〕県内全域 〔発生期〕6月

摘　要

1 富山県農業試験場所蔵の標本などに基づいて，異翅目頭角群に属する広義のカメムシ類の種類と発生状況を記録した。それらはすべて富山県内の主として水田地帯とその付近で発生が確認されたものである。

2 記録した種類は7上科，13科に属する102種である。

3 これらの中には農作物害虫類が多く含まれる。

引用文献

1) 常楽武男（1982）富山県の昆虫補遺Ⅰ．AMICA 27：99～128. 2) 常楽武男（1984）同上Ⅲ．同上28：33～41. 3) 常楽武男・長瀬二朗（1972）富山県における稲穂を加害するカメムシ類とそれらの発生経過および分布．北陸病虫研報20：31～35. 4) 富山県昆虫研究会（1979）富山県の昆虫．91～107，富山県，富山，545pp. 5) 富山県農業試験場（1977）昭51発生予察事業年報177～178，富山農試，富山，178pp. 6) 富山県農業試験場（1978）昭52発生予察事業年報．26～27，富山農試，富山，127pp. 7) 安松京三ら（1965）原色昆虫大図鑑（第3巻）．*6*，*44*～*47*，75～102，pl. 38～51，北隆館，東京，*76*pp.＋358pp.＋156pl.

（1984年8月30日受領）